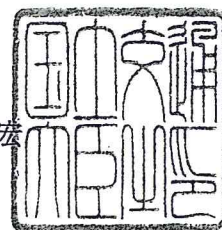


認 定 書

国住指第 329 号
平成 25 年 8 月 8 日

積水化学工業株式会社
代表取締役社長 根岸 修史 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0698
2. 認定をした構造方法等の名称
被覆材付金属強化ポリエチレン管／アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート・ポリエチレン系樹脂フィルム・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意） この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

被覆材付金属強化ポリエチレン管／アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート・ポリエチレン系樹脂フィルム・シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 申請仕様の寸法等：

申請仕様の寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法等

項 目		申 請 仕 様
開 口 部	形状	円形 (φ 144mm以下)
	面積	0.0163m ² 以下
配管と壁との隙間の寸法 (クリアランス)		5~10mm
占積率		86.4%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定耐火構造： FP060NP-0007、FP060NP-0046、FP060NP-0049、FP060NP-0185、FP060NP-0189、FP060NP-0192、FP060NP-0233、FP060NP-0258、FP060NP-0294) 厚さ42mm以上

3. 申請仕様の主構成材料：

申請仕様の主構成材料を表2に、配管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項 目		申 請 仕 様		
熱膨張性シート	材料	アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート・ポリエチレン系樹脂フィルム		
	寸法	総厚さ：4.12mm以上 幅：110(-1.5)mm以上		
	表面材 (基材1)	材料	アルミニウムはく積層紙	
		厚さ	0.12(±0.02)mm	
	シート	材料	黒鉛含有ブチルゴム	
		厚さ	4mm以上	
	組成 (質量%)	組成は、企業秘密とさせていただきます。		
	裏面材 (基材2)	材料	ポリエチレン系樹脂フィルム	
厚さ		0.10mm以下		
充てん材	材料	建築用シーリング材 (JIS A 5758) 種類：シリコーン系		
	使用量	壁と配管との隙間 (壁の両側から40g/m以上密に充てん)		

表3 申請仕様の配管の構成材料

項目		申請仕様		
給水管・排水管	材料	被覆材付金属強化ポリエチレン管		
	外径	φ124.5mm以下		
	配管	材料	金属強化ポリエチレン管 構成 外層：ポリエチレン系樹脂 補強層：アルミニウム 内層：ポリエチレン系樹脂	
		外径	φ63.1(±0.1)mm以下	
		厚さ	5.0(±0.1)mm以下	
	被覆材	材料	①～⑥の一 ①ポリエチレン系樹脂 ②ポリウレタン系樹脂 ③ポリプロピレン系樹脂 ④ポリスチレン系樹脂 ⑤フェノール系樹脂 ⑥塩化ビニル系樹脂	
		厚さ	30(+3,-0)mm以下	

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表4に示す。

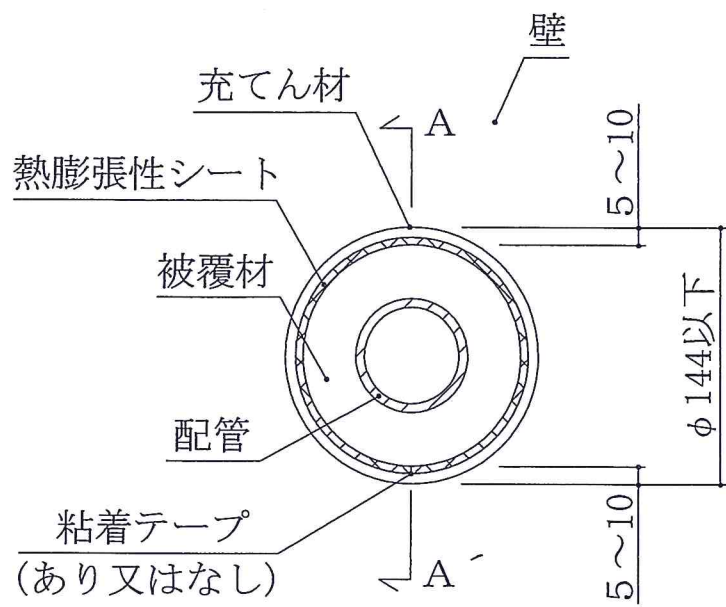
表4 申請仕様の副構成材料

項目		申請仕様	
粘着テープ (熱膨張性シート 固定用)	材料	あり又はなし 種類：①、②又は③ ①片面粘着テープ ②両面粘着テープ ③アルミニウムテープ	
	厚さ	0.4mm以下	
	使用方法	必要に応じて、熱膨張性シートの端部に粘着テープを用いる	

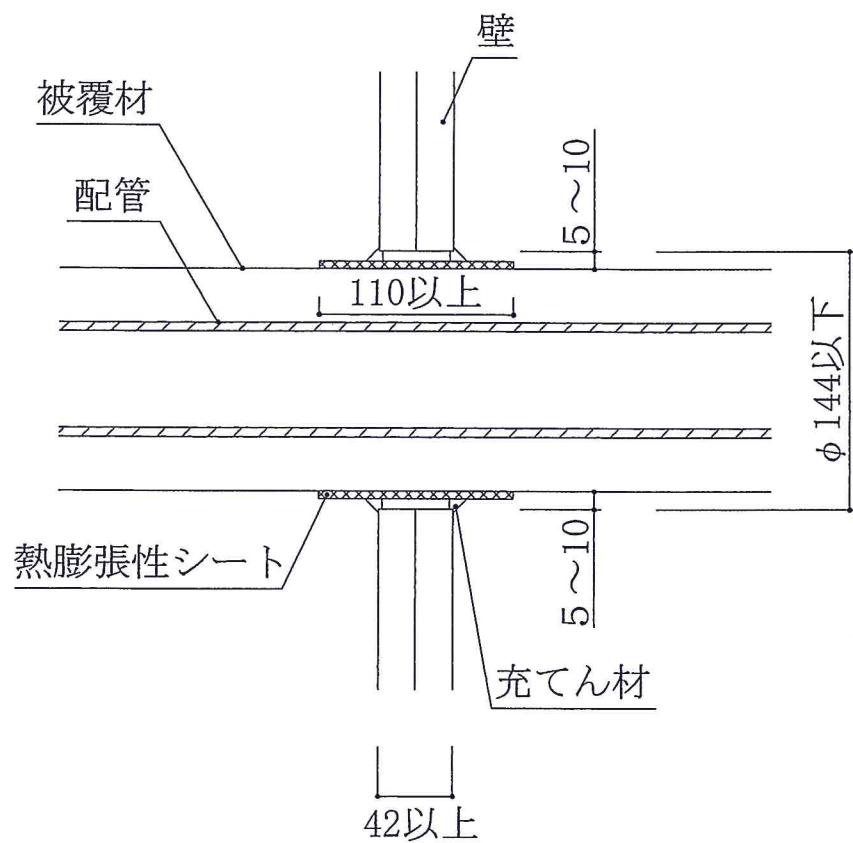
5. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1に示す。

単位 mm



立面図



A-A' 断面図

図1 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図2に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、配管の寸法(配管の断面積及び種類等)、占積率、壁の仕様、壁の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 熱膨張性シートの墨出し

配管の熱膨張性シートを巻付ける位置に墨出しをする。

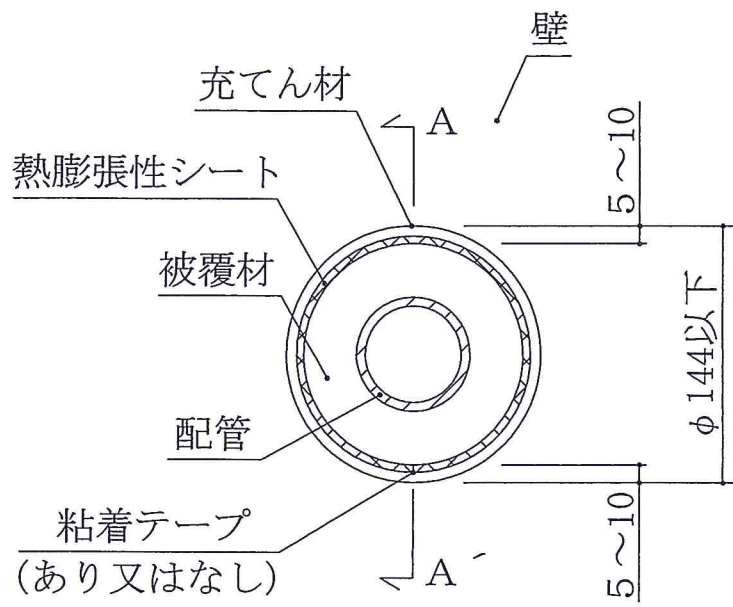
(3) 熱膨張性シートの巻付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻付ける。なお、熱膨張性シート巻付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻付けるか、端部を重ね合わせる。なお必要に応じて、熱膨張性シートの端部に粘着テープを用いてもよい。

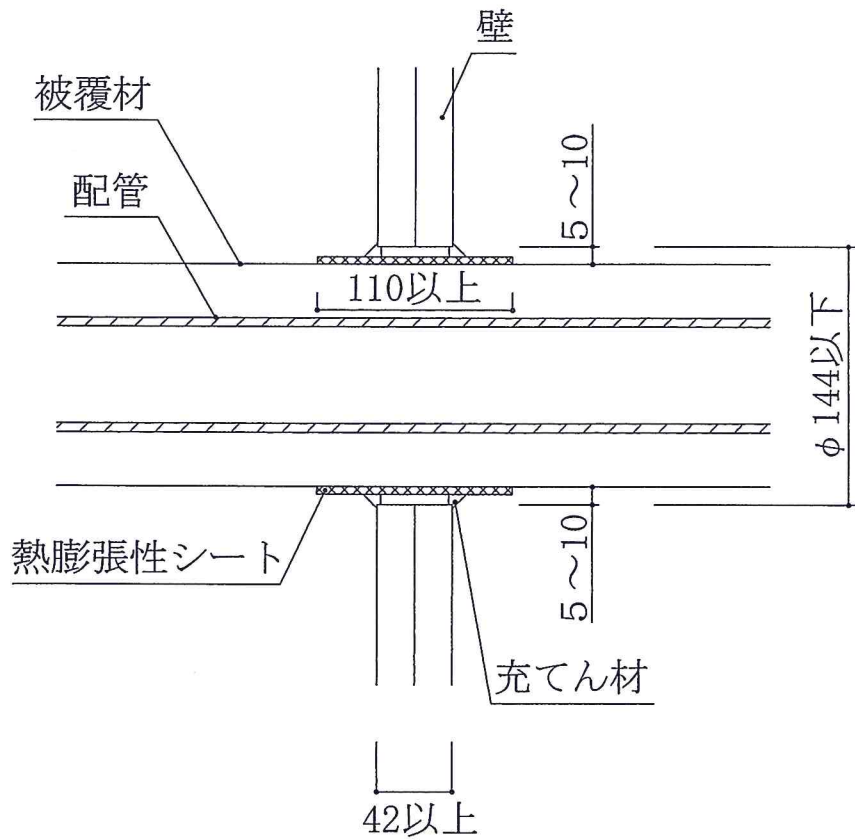
(4) 開口部の埋め戻し

配管を所定の位置に設置し、壁の両側の隙間に充てん材で密に充てんする。

単位 mm



立面図



A-A' 断面図

図2 施工図